

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		OZデイからつ		公表日		2025年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	1	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3		配置基準は満たしていますが、利用者様の人数に対して十分とは言えない場合がありますので、今後もスタッフ数を増やしたいと思っています。	
	2	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3		構造化はしていませんが、それぞれの方に合わせた環境になるよう努めています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	4		評価を基に業務改善や情報の取り扱いなど、変更、確認などを行っています。	
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	4		職員会議を毎月行っており、利用者様の為の意見は反映させていっています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		第三者評価は行っていません。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	0	6		研修は個人で参加してもらっていますOZ内での職種別会議には可能な時に参加しています。	
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	3		保護者様からのご意見と利用者様の日常の様子、スタッフからの意見をもとに計画書を作成しています。	
	9	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	10	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2		計画書は会議の中で共有しています。	
	11	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		設定しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	4		固定化しないよう、保育士さんを中心に工夫されています。	
	13	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	2		ない方もいますが、計画書に書かれた支援の方針に沿って、集団、個別活動を実施しています。	
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		1日の流れを朝確認し、役割分担も可能な限り行っています。	
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		必ず行えない日もありますが、時間がとれる時や会議の時に振り返って、意見の共有、次回への反映を行っています。	
16	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	1	5		記録は必ずとっています。		
17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		定期的に行っています。		

	18	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	0		
	19	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	主治医との連絡体制は必須	や指示内容の確認を行っています。関係機関とは直接連携をとることが多いです。
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		直接お話出来る機会に情報交換を行っています。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		会議で情報提供を行っています。
	23	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		なかなか機会がありません。
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		就学されると時間的に交流が難しいところがあります。そのため直接的な交流ではなく、間接的な交流を行っています。
	25	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		管理者が参加しています。
	26	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	4		送迎、お迎えの際にお話しし、状況や発達上の次の課題などを共有しています。
	27	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	28	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	5		説明をおこなっています。
	29	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	4		相談には随時対応し、可能な限りのアドバイスが行えるようにしています。
	30	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	31	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	5		対応し、全てのスタッフに周知するようにしています。
	32	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	SNSで日々の活動内容は発信している	
	33	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	5		個人情報は保護者様に確認し、意に反する利用がないよう、個人情報の漏洩がないように取り扱っています。
	34	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1		視線入力などの機器の使用や可能な意思表示の方法をスタッフ間で共有しています。
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		
非	36	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	4		作製し、研修や訓練も各職種を中心にしています。
	37	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		避難訓練や災害、避難に関する学習を行っています。

非常時等の対応	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	39	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		ヒヤリハットを1か月ごとにまとめ、全員で共有、改善策を話し合っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		身体拘束を行う際は必ず説明と同意書にサインを頂いています。現在児童さんに拘束が必要な方はいません。